

JAAS News 第163号をお届けします

一般社団法人シニア社会学会・事務局 2013年1月18日

＜ もくじ ＞	
1. 年頭のご挨拶 袖井孝子会長	1
2. 連続講座『後悔しない終活のために』第5回と第6回のお知らせ	2
3. 研究会からのお知らせ	2
4. 2013年度総会・大会の企画関連のお願い	3
5. シニア・ニュース	4
6. 学会機関誌「エイジレスフォーラム」第11号に掲載原稿募集	5

1. 年頭のご挨拶 袖井孝子会長

新年あけましておめでとうございます。皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年を象徴する文字は「金」でした。ロンドン・オリンピックの金メダルや山中伸弥・京都大学教授のノーベル賞受賞が根拠になっているようですが、私から見れば、暗澹の「暗」、閉塞感の「閉」、混迷の「混」という感じの年でした。



相変わらず低空飛行を続ける日本経済に加え、年末に行われた衆議院選挙の結果は、日本の将来に対する不安感をいっそう高めるものでした。3年前の政権交代時の高揚感が遠い遠い昔のように思われます。民主党政権とはいったい何だったのでしょか。マンネリ化した自民党に代わって新しい政権が誕生したことに、人びとは過大な期待感を抱いてしまったようです。権力を手に入れたことで舞い上がってしまった民主党。仮免許のまま高速道路を突っ走ってしまいました。

振り返ってみると、民主党が実現しようとしたことのなかには、優れた点も少なくありません。子育ては社会の責任であることを明確に打ち出した子ども手当、配偶者控除の廃止、市民の力による社会の構築を目指す「新しい公共」の概念、税と社会保障の一体改革等など。すべて理念のみが先行し、実行力が伴いませんでした。

自民党が大勝して安倍晋三氏が、再び総理の座に就きました。「日本を取り戻す」のが選挙の際のスローガンでしたが、どこまで戻るつもりなのでしょう。バブルの頃でしょうか、高度経済成長期の頃でしょうか、あるいは戦前でしょうか。憲法を改正し、教育制度を見直すということですから、戦後民主主義の否定につながる恐れがあります。東日本大震災の復興がなかなか進まないにもかかわらず、デフレからの脱却を目指して、原発再稼働を推進する声が聞こえてくるのも不安の種の一つです。

人口の大半が、戦争の惨禍から復興を遂げて以降に生まれている今日、経済の面でも外交の面でも良いところのない日本の現状に不満を抱き、もっともっと強い国になってほしいと願う若者が少なくありません。しかし、大きな犠牲を払って勝ち得た平和や人権の大切さを簡単に忘れ去るわけにはいきません。今こそ、戦中戦後の苦しい時代を経験してきたシニアたちが声を上げる必要があります。日本という国が危険な方向を辿らないよう、シニア社会学会としても歯止めをかける役割を果たしたいと考えております。皆さまのお力添えを心よりお願い申し上げます。

2013年1月

一般社団法人シニア社会学会会長
袖井孝子

2. 連続講座『後悔しない終活のために』第5回と第6回のお知らせ

ただいま、本年度（2012年度）の連続講座について参加者の申し込みを受け付けています。第5回、第6回講座の概要についてお知らせいたします。ふるってご参加ください。

(1) 第5回講座は、2013年1月26日（土）開催です。

講演テーマ：「安心の遺言書」

講師：加藤 隆（NPO 法人 相続・遺言相談センター）

（講演要旨）

「終活」は「2012新語・流行語トップテン」に入り、少人数世帯・一人住いが一般化する現在、自分の人生の総決算を考える言葉として定着しつつあります。

自分自身の財産や思い出の品物について、自分らしく決めることができる「遺言書」を作ることによって、残された家族・親族やお世話になった方へ、財産の分与、遺贈をすることができます。

法律的に正しい「遺言書」を作成しないと無効となるケースも散見されています。相続トラブルを防ぐために、元気なうちに財産の分与・遺贈を考えることも大切です。残された家族・親族の双方が悩まない安心の「遺言書」について、どんなことを注意すべきかを考えたい。

(2) 第6回講座（最終回）は、2013年2月23日（土）開催です。

講演テーマ：「その人らしい葬儀と墓」

講師：荒井浩道（駒澤大学准教授、泉龍寺副住職、当学会理事）

（講演要旨）

「終活」は、2012年流行語大賞のトップ10に選ばれ、まさに時代のキーワードとなりました。この講演では、「終活の最終テーマ」といえる「葬儀」と「墓」を取り上げたいと思います。

ここ最近、「その人らしい」葬儀や墓について考える人が増えています。私たちの人生がそれぞれ異なるように、葬儀や墓のあり方も違って当然です。さらにいえば、「その人らしい」葬儀や墓について考えることは、その人らしい人生を全うするために無くてはならないことなのです。しかし、「その人らしい」葬儀と墓を実現するには、さまざまなハードルが存在します。伝統や世間体、費用との兼ね合い、家族の意向などのために、断念するケースも少なくありません。

私たちはどのようにしたら「その人らしい」葬儀を行い、「その人らしい」墓を建てることのできるのでしょうか？参加者の皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。

※参加講座は各回ごとに自由にお選びいただけます。（複数回も可）

※ホームページでも随時お知らせしますのでご参照ください。お申し込みもできます。

1) 場 所 : 東京銀座・資生堂 9Fホール

(http://www.shiseido.co.jp/parlour/html/res_ginza04.htm)

2) 開催要領: 各回とも、14時～16時の開催。募集人数は最大45名。

各回の参加費は、会員2500円、非会員3000円を会場でお支払いください。

※お申し込みは、「①お名前」、「②参加講座」、「③連絡先」を明記し、eメール、FAXで事務局まで。

※参加費は当日、会場にてお支払いください。

※ご家族やご友人などにもお声掛けをお願いいたします。多数の方のご参加をお待ちしております。
(事務局担当 鈴木)

3. 研究会からのお知らせ

◆第10回「シニア社会の正義」研究会のお知らせ

1) 日 時 : 2013年1月21日(月) 16:30～19:30

2) 場 所 : 早稲田大学国際会議場4階第7共同研究室

3) テーマ : ① M・サンデル著『これからの「正義」の話をしよう』第7章及び第8章 を読んで、その要約と問題提起

発表 : 第7章 本田 重道さん 第8章 宮原 亮さん

(事務局担当 島村)

◆「シニアのICT活用研究会」第5回のお知らせ

原則的に毎月第二月曜開催ですが、1月と2月は祝日と重なるため、第5回の研究会は2月の第一月曜日の開催とします。

- 1) 日 時：2013年2月4日(月) 17:00~19:00
- 2) 場 所：(公財)ダイヤ高齢社会研究財団 会議室
新宿区新宿一丁目34番5号直田ビル3階
- 3) 話題提起者：本田 英二氏(富士ソフト株式会社)
- 4) テーマ：「(仮)高齢者福祉施設で活躍するICT端末としてのロボットのご紹介」
- 5) 参加費：500円
参加のご連絡およびご質問については、澤岡 sawaoka@dia.or.jp (@は、半角にしてメール送信ください) までご連絡ください。

◆第64回社会保障研究会の報告

- 1) 日 時：2012年12月13日(木)
- 2) 場 所：高齢者生活協同組合会議室
- 3) 講 師：原 剛氏(内閣府共生社会政策担当参事官)
- 4) テーマ：「高齢社会対策大綱について」
平成8年に策定され、平成13年に改訂された「高齢社会対策大綱」が約10年ぶりに改定されることになった。概ね同じ内容ではあるが、①5年を目途に必要とするときに見直しを行うこと、②各施策に数値目標を設定したこと、③世代循環社会の構築を推進すること、④高齢者向け市場を活性化すること、などが新しく掲げられている。世代循環社会の実現については、高齢期を健康でいきいきと過ごすために、若いころからの健康づくりやワークライフバランスの推進を図ること、高齢期の経済的自立のためには、就労期に実物資産や金融資産などのストックを適正に積み上げ、引退後はそれらの資産を活用して、最後まで安心して生活できる経済設計に取り組み、積み上げた資産を次世代が適切に継承できるよう、社会に還流できるしくみの構築を図ることが必要である。(林葉子 記)

◆第65回社会保障研究会のお知らせ

- 1) 日 時：2013年2月14日(木) 18:00~20:00
- 2) 場 所：高齢者生活協同組合会議室(光文社ビル6F)
- 3) 報告者：渡辺 大輔(成城大学研究員)
- 4) テーマ：「ターミナルケアに関する国際比較」
※お問い合わせ、参加申込は事務局・佐藤[fujiko11kasei1locha@yahoo.co.jp]迄ご連絡下さい。

◆第11回「シニア社会の正義」研究会のお知らせ

- 1) 日 時：2013年2月22日(金) 16:30~19:30
- 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：M・サンデル著『これからの「正義」の話しよう』第9章及び第10章を読んだの要約と問題提起
お問い合わせ等は、事務局島村までお願いします。

4. 2013年度総会・大会の企画関連のお願い

まもなく締切！ 大会で、あなたの日ごろの活動状況を発表しませんか。

2013年度総会・大会は、2013年6月1日(土)、お茶の水女子大学で「シニアの生涯学習について」をテーマに予定しており、会員の皆様と大いに語り合いたいと計画しています。当学会には地域で素晴らしい活動をしている会員が多数おられることから、本大会の場でその活動状況を発表していただきたいと期待しています。

そこで、大会での発表エントリーの申し込みと、あなたの活動状況についてのレポートの提出を募集します。提出要領は下記の通りです。

- 1) 氏名
- 2) 連絡先（住所、電話、FAX、メールアドレス）
- 3) 活動内容について
 - ①テーマ
 - ②内容（これまでの活動期間、具体的な内容、成果、特記事項、他）

レポートはA4で1枚程度にまとめ、**2013年1月31日までに**学会事務局大会企画係宛にメール添付、若しくはFAXで送付ください。多数の応募をお待ちしています。お問合せは、事務局までメール、若しくはFAXでお願いします。

5. シニア・ニュース

(1) NPO法人かながわ女性会議&日本ベンチャー大学ジョイント・イベントのお知らせ

親子で考えてみませんか！！『これからの若者の就活』

《ストップ・ザ・就活うつ&就活自殺》

最近、就活の失敗を苦にして自殺する若者が急増しており、4年間で、2.5倍に増えたというニュースが世間を騒がせています。若者たちが就活で潰されないために、就活生自身やご両親、就活サポート機関の教員・職員も含めより多くの方々と、今の若者にどのようなアドバイスとサポートができるかを一緒に考えましょう。

1) 日 時：2013年2月3日（日）13：00～17：00（受付開始12：30）

2) 会 場：ソレイユさがみ

神奈川県相模原市緑区橋本6-2-1 シティプラザはしもと内

3) 内容（予定）

- ・基調講演：中條高德氏（アサヒビール名誉顧問・日本ベンチャー大学学長）
- ・体験発表：うつや自殺を乗り越えた学生（若者）
- ・パネルディスカッション：
 - コーディネーター 赤池誠章氏（松下政経義塾7期生）
 - パネラー 杉山由美子氏（ノンフィクション作家、「親子でできる就職活動突破法」著者）
 - パネラー 山近義幸氏（就活の神様、日本ベンチャー大学理事長代行）他

4) 参加費：無料

5) 定 員：150名

6) 主 催：NPO法人かながわ女性会議 日本ベンチャー大学

7) その他：詳細・お申込み <http://www.919v.com/>

※お問い合わせは、事務局・黒澤までお願いします。

(2) 地域サロン「ぷらっと」よりお知らせ

2013年1月19日（土）11：00～16：00 「関東大震災資料館見学会」（要予約）

～ 地下鉄両国駅前集合・解散～ 引率：社会福祉学者 川村 匡由

見学会 700円（交通費・入場料などは別途、各自負担）

※詳細のお問い合わせは、地域サロン「ぷらっと」まで（0422-54-4691）

6. 学会機関誌「エイジレスフォーラム」第11号に掲載原稿募集

一般社団法人シニア社会学会の広報誌のひとつ、学会機関誌「エイジレスフォーラム」第11号に掲載します『会員の声』、過去3年以内に出版しました『著書紹介』の原稿を募集します。

下記の募集要項に基づきふるって応募下さい。

◆『会員の声』

テーマ：日頃から考えていること。現在地域で活動して感じていたこと。勿論シニア社会学会のこれから。などテーマは自由です。

文字数：700字（50字前後の長短は可能です）

締切り：2013年2月28日必着

送り先：シニア社会学会・事務局、担当武者宛電子メール（jaas@circus.ocn.ne.jp）添付。不可な場合はFAX（03-5778-4728）にてお送り下さい。

◆『著書紹介』

過去3年以内に出版された著書または共著をご紹介します。

応募方法：ご紹介頂きます著書（表紙画像掲載の為）と書評を下記宛にお送り下さい。

書評文字数：1200字以内を厳守下さい。

書評のみ、電子メール（jaas@circus.ocn.ne.jp）で事務局宛お送り頂いて結構です。

締切り：2013年3月15日必着

送り先：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階

一般社団法人シニア社会学会・事務局 担当 武者宛

尚、著書は編集終了後返却します。

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX：(03) 5778-4728
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>